

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひだまり

作成日: 令和 元 年 10 月 4 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	災害対策	年2回、避難訓練を実施しているが、夜間帯に夜勤者2名で利用者18名を安全に避難誘導する事の難しさを実感し、避難訓練を頻繁に実施して、利用者が安全に避難できる体制を築いていく。	夜勤者を中心に、目標タイムを設定して夜間想定 of 訓練を繰り返し実施し、夜勤担当の職員全員が避難誘導の方法を身につけられるように取り組み、夜勤者が自信を持って夜勤に取り組める体制を整えていく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	職員不足や利用者の重度化が進む中で、外出の支援が難しくなっているが、勤務体制を調整し、職員のやる気を引き出し、日常的な外出支援が出来る体制を整えていく。	職員不足を補いながら、ボランティアや家族の協力を得て、散歩や買い物等に出かける機会を設け、利用者の気分転換を図っていく。また、敷地内の庭を整備し、利用者が外気浴を楽しめる環境を整えていく。	12ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。